2014年3月期第2四半期決算説明

2013年11月18日

山一電機株式会社

（証券コード　6941）

ご説明内容

【1】ＦＹ2013/１H業績について

【2】ＦＹ2013業績見通しについて

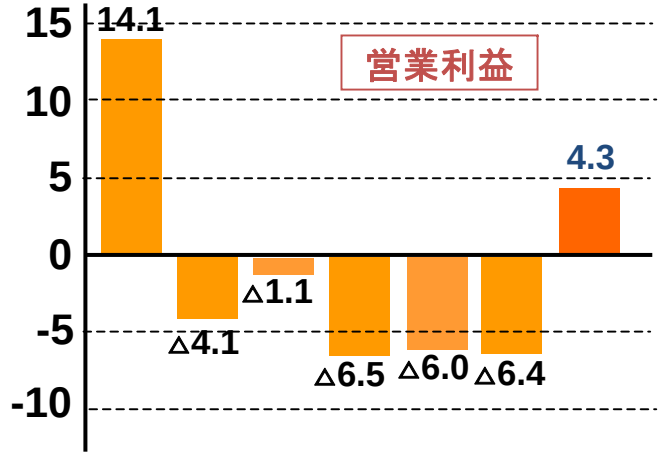
※注意事項

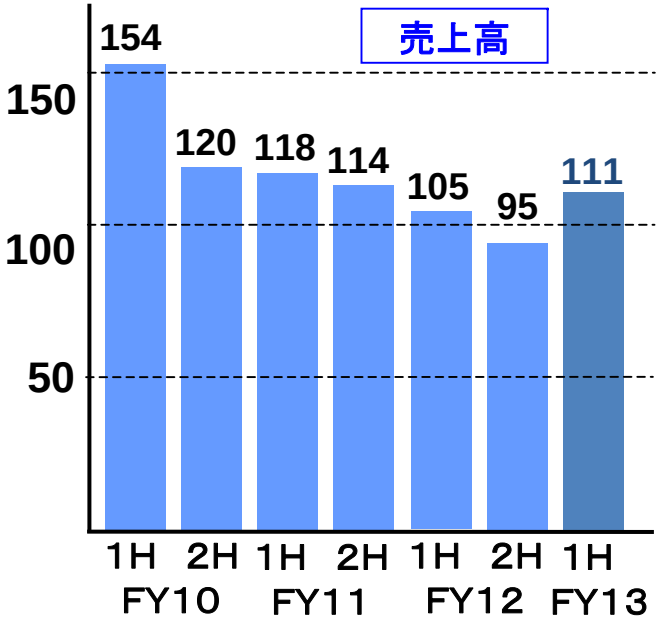
本資料は、2013年11月8日現在の当社グループの事業内容、経営戦略、業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものでありません。

本資料に記載した意見や予測等は資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

ＦＹ2013/1H業績結果について

構造改革効果およびTS製品売上増により黒字転換





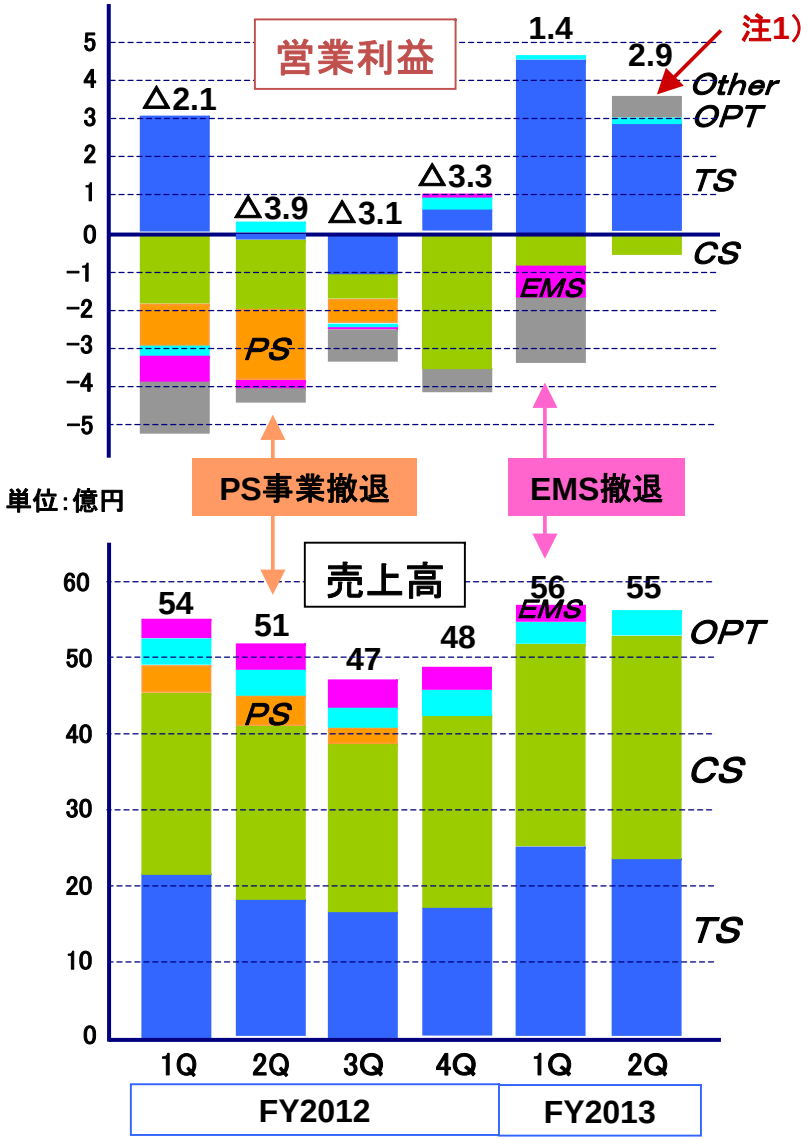
構造改革効果 7.5億円

単位：億円	FY13 1H	FY12 1H	前年比（%）	期初予想 1H	予想比（%）
売上高	111.1	105.0	5.8	102.8	8.1
売上総利益	31.9	21.7	46.9	26.3	21.7
（販売管理費）	27.7	27.8	△0.4	25.7	7.9
営業利益	4.3	△6.0	黒転	0.6	610
（営業外損益）	注）2.1	△4.0	―	△1.2	―
経常利益	6.4	△10.0	黒転	△0.6	黒転
（特別損益）	0.3	△9.9	―	0.0	―
（法人税等）	1.6	0.7	―	0.3	―
当期純利益	5.2	△20.6	黒転	△0.9	黒転

注）営業外収益で為替差益　2.4億円を計上

ＦＹ2013/1H事業別業績結果について

TS増収増益、CS損益改善、PS・EMS撤退で事業収益改善



単位：億円		FY13 1H	FY12 1H	前年比	期初予想 1H	予想比
TS	売上高	48.3	39.4	22.7%	40.0	20.7%
	営業利益	7.3	2.9	150.9%	3.5	108.9%
CS	売上高	55.2	46.6	18.5%	55.0	0.4%
	営業利益	△1.3	△3.6	赤縮	△0.6	赤拡
OPT	売上高	5.7	6.4	△10.8%	5.8	△2.3%
	営業利益	0.2	0.1	241.2%	△0.3	黒転
EMS	売上高	2.0	5.6	△64.6%	2.0	1Qで撤退
	営業利益	△0.8	△0.8	0	△0.7	1Qで撤退
PS	売上高	―	7.1	―	―	前期撤退
	営業利益	―	△3.0	―	―	前期撤退
Other	営業利益	△1.1	△1.6	赤縮	△1.3	―
Total	売上高	111.1	105.0	5.8%	102.8	8.1%
	営業利益	4.3	△6.0	黒転	0.6	610%

注1）2QのOtherは棚卸資産未実現利益
1QでR&Dセンター廃止し、2Qより事業部経費として集計

ＦＹ2013/1Ｈ決算のポイント

	ハイライト	ローライト
TS （ﾃｽﾄｿﾘｭｰｼｮﾝ）	ｽﾏﾎ・SSD向けﾊﾞｰﾝｲﾝｿｹｯﾄが好調 車載向けﾊﾞｰﾝｲﾝｿｹｯﾄも伸長	
CS （ｺﾈｸﾀｿﾘｭｰｼｮﾝ）	欧州産業機器向けが堅調 国内製品の収益改善が進む	ｱﾐｭｰｽﾞ向けYFLEXが落ち込む
OPT （光関連）	光通信向けが堅調	民生向けが低迷
EMS	事業撤退 PMI工場移転	

ＦＹ2013/1Hの貸借対照表

現預金46億円、自己資本比率55.7%

単位：億円

	2013.3末	2013.9末	前期比増減	
流動資産	113	120	6	
現金及び預金	38	46	8	← 増収増益や棚卸資産の減少等
受取手形・売掛金	39	39		
棚卸資産・その他資産	35	35		
固定資産	116	113	△3	
有形固定資産	92	91	△1	
無形固定資産	1	1		
投資・その他資産	22	21	1	
資産合計	228	233	5	
流動負債	88	85	△3	
支払手形・買掛金	13	13		
短期借入金	55	51	△4	← 借入金の返済
その他負債	20	21	1	
固定負債	17	18	1	
負債合計	106	103	△3	
株主資本	131	136	5	← 当期純利益　5億円
純資産合計	123	130	7	

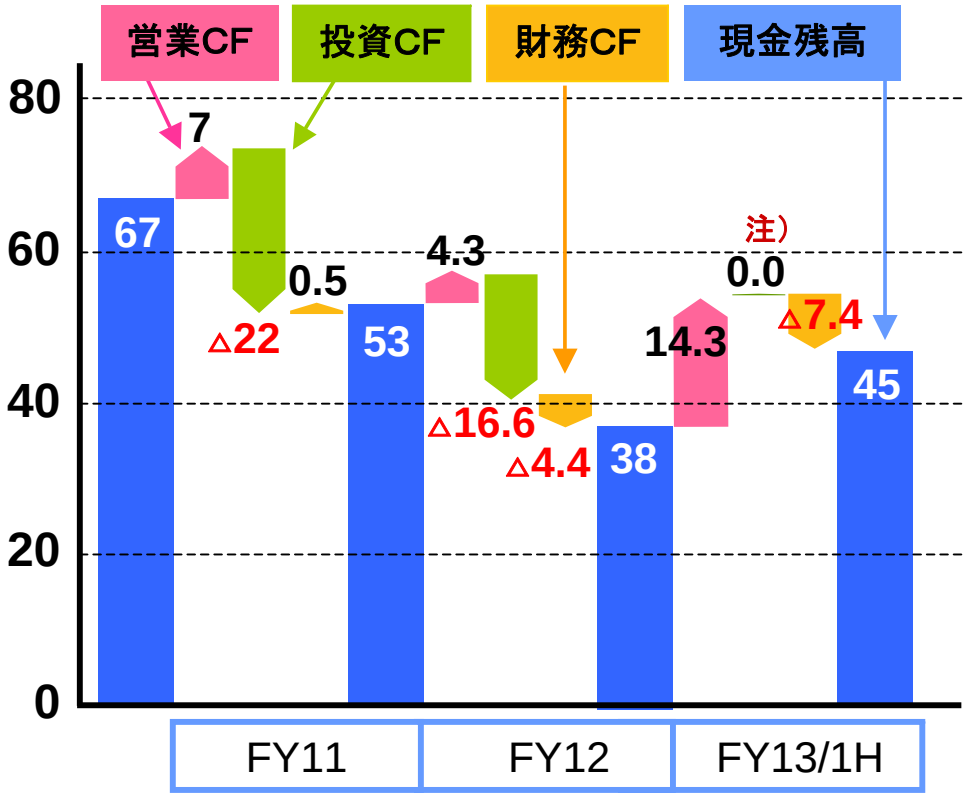
キャッシュフロー・設備投資・減価償却費・研究開発費

構造改革、EMS事業譲渡と工場移転でCF大幅改善

キャッシュフロー

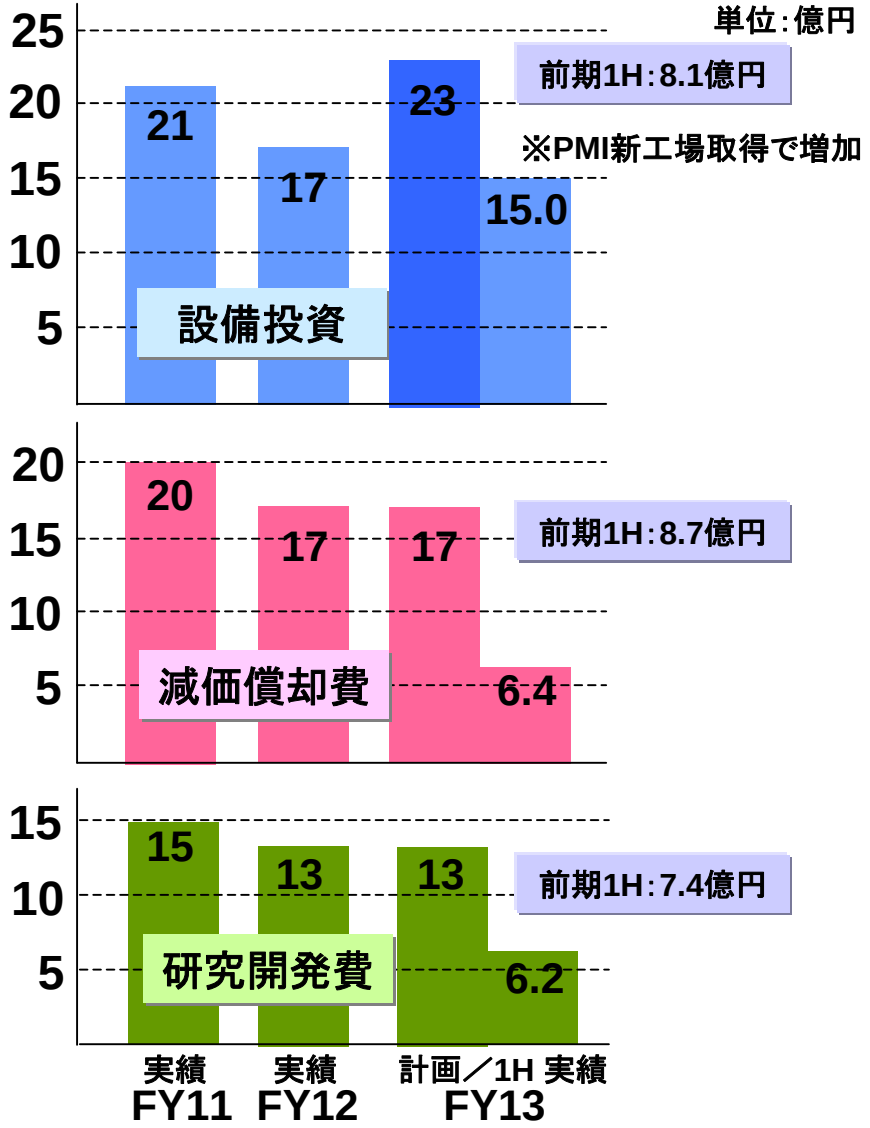
前期1H
営業CF：6.2億円
投資CF：△8.3億円
財務CF：△2.6億円
現金残高：48億円

単位：億円



注） PMI旧工場売却で設備投資額が相殺

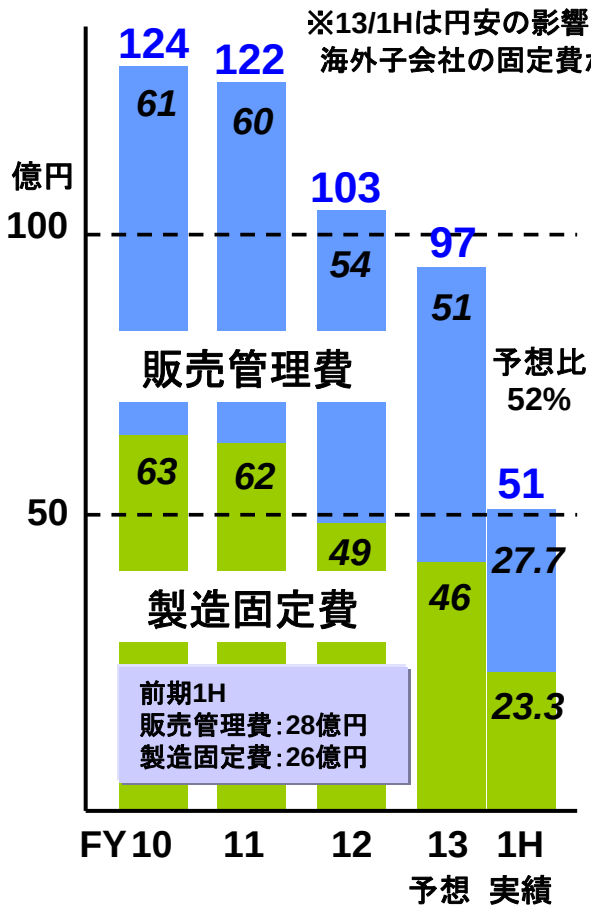
単位：億円



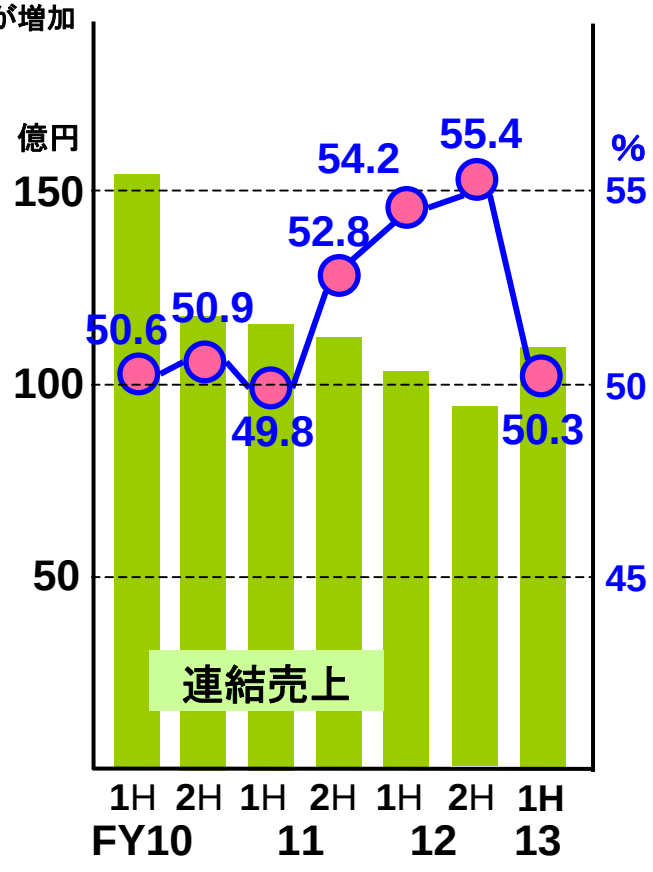
ＦＹ2013/1Hのコスト構造

円安により固定費微減、変動費･在庫は改善進む

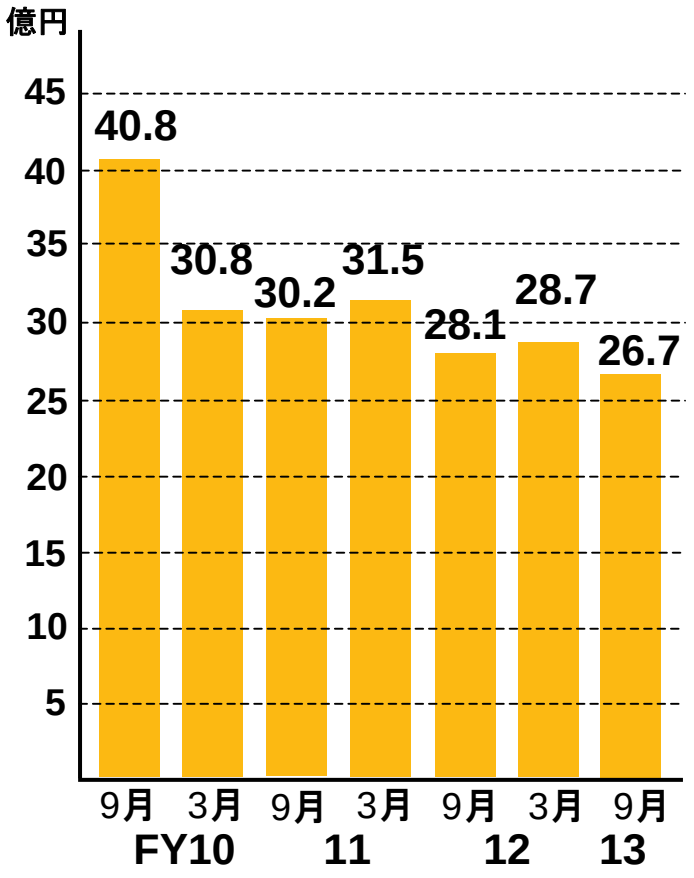
連結固定費



売上高変動費率



在庫額



【1】ＦＹ2013/1Ｈ業績について

【2】ＦＹ2013業績見通しについて

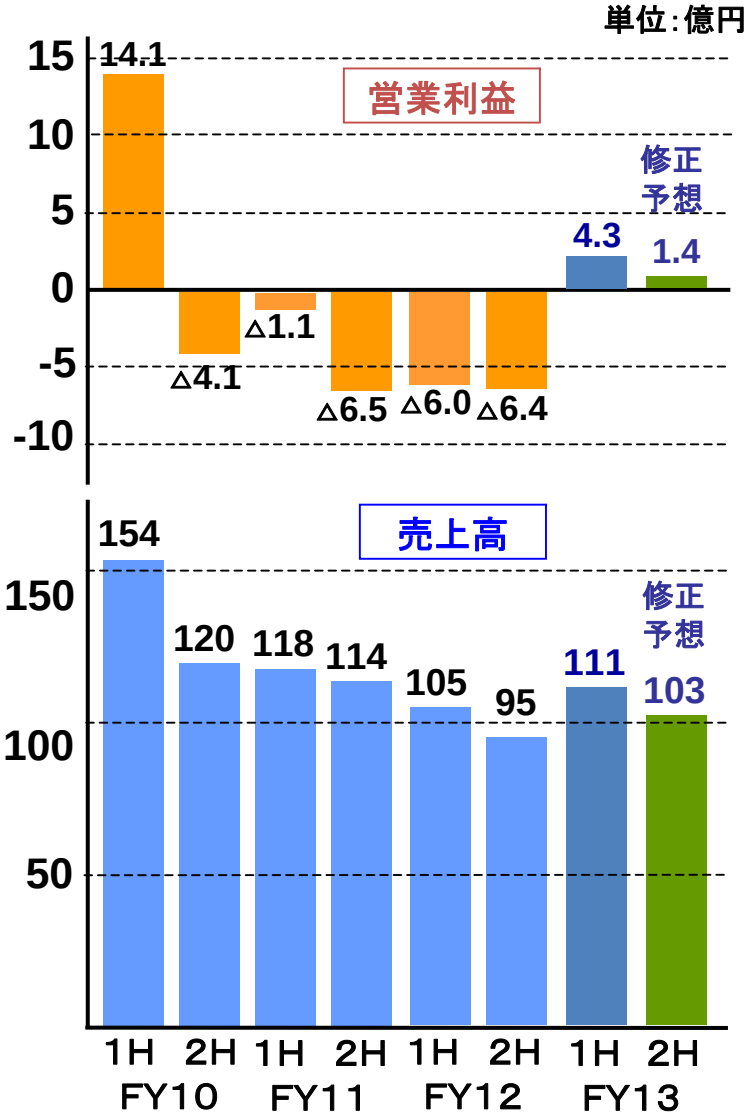
※注意事項

本資料は、2013年11月8日現在の当社グループの事業内容、経営戦略、業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものでありません。

本資料に記載した意見や予測等は資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

2H、通期予想

来期に向けた成長戦略と下振れに強い事業体質の構築に取り組む

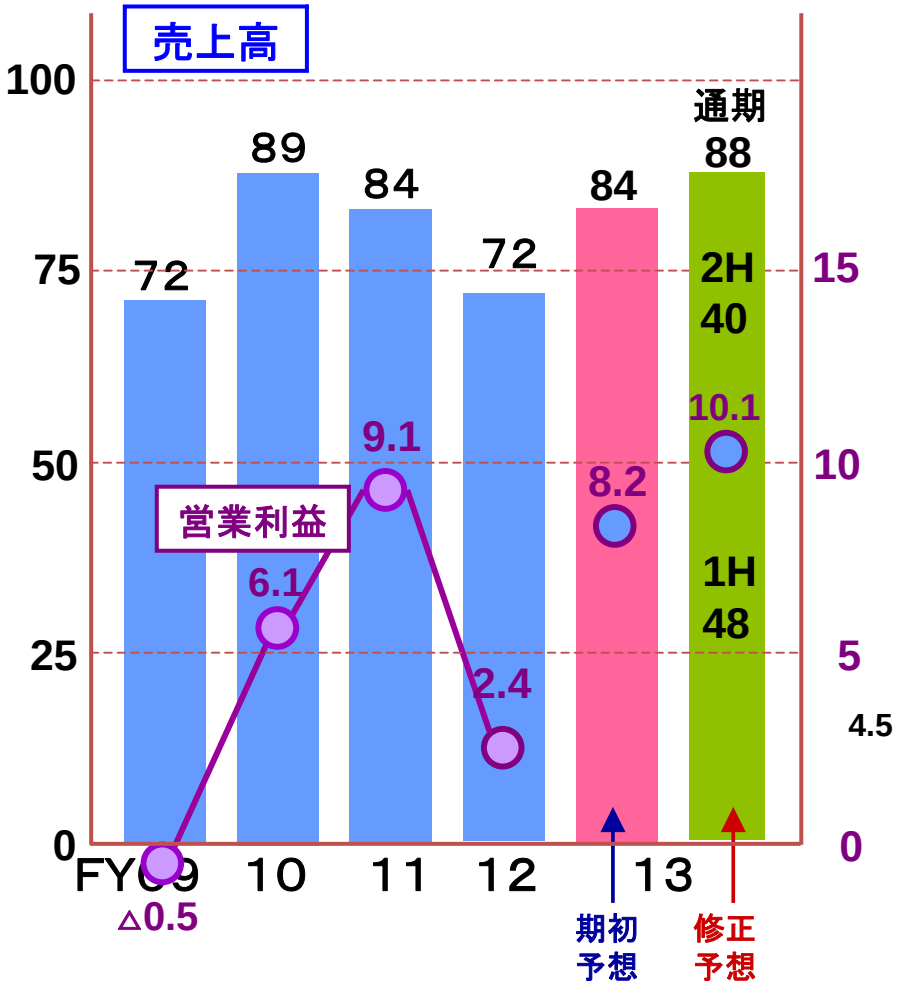


単位：億円	FY13/1H 実績	FY13/2H 修正予想	FY13通期 修正予想	FY13/2H 期初予想	FY13通期 期初予想
売上高	111.1	102.9	214.0	111.0	213.8
売上総利益	31.9	29.1	61.0	29.7	56.0
（販売管理費）	27.7	27.6	55.3	24.9	50.6
営業利益	4.3	1.4	5.7	4.8	5.4
（営業外損益）	2.1	△0.7	1.4	△1.0	△2.2
経常利益	6.4	0.7	7.1	3.8	3.2
（特別損益）	0.3	0.0	0.3	0.0	0.0
（法人税等）	1.6	0.5	2.1	0.4	0.7
当期純利益	5.2	0.1	5.3	3.4	2.5

テストソリューション（ＴＳ）事業

当初想定のDDR4投資は来期以降にずれ込む

単位：億円



◇通期の事業業績予想

単位：百万円

FY2013	売上	営業利益
期初予想通期	8,400	820
修正予想通期	8,840	1,010
1H実績	4,827	731

◇下期の状況

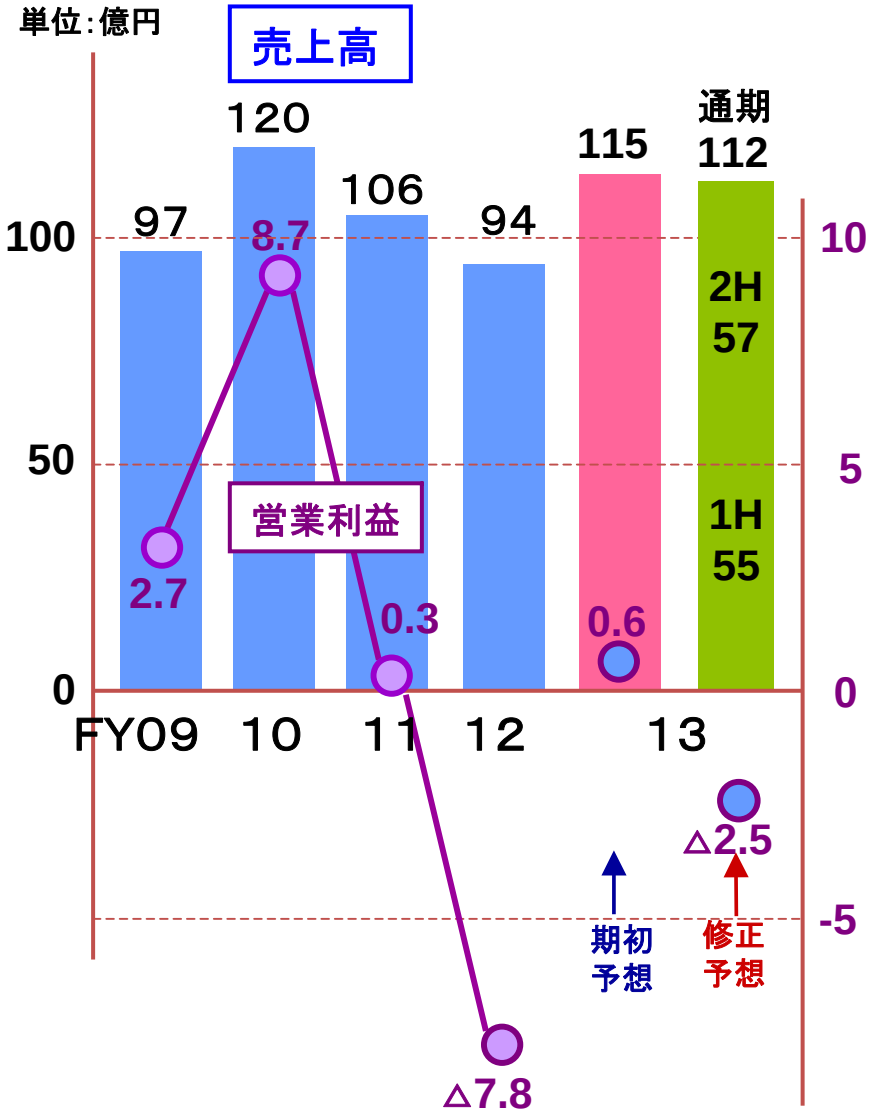
・DDR4投資は来期以降と想定
　理由は、PC需要低下とスマホ向けはDDR3が中心
・NAND投資は堅調に推移
・車載用半導体も堅調に推移
・テストコンタクトの新規顧客獲得

◇成長戦略

・顧客別戦略の明確化（海外メーカー・車載メーカー ）
・組織能力の強化（情報・納期・YDメッキ・高温対応）
・事業領域の拡大（IT活用・製造/検査工程の再検証）

コネクタソリューション（ＣＳ）事業

民生から通信・車載・産機へのプロダクトミックスの改善を最優先に取り組む



◇通期の事業業績予想

単位：百万円

FY2013	売上	営業利益
期初予想通期	11,480	60
修正予想通期	11,220	△250
1H実績	5,522	△128

◇下期の状況

- プリンター・デジカメ向けカードコネクタ落ち込む
- アミューズ向けYFLEX需要は低調
- 産機向けコネクタは欧州市場で堅調に推移
- 通信インフラ向けCFP2、4で顧客の取り込みを継続
- 車載向けBECで来期拡販に取り込む
- 製品収益率改善を継続

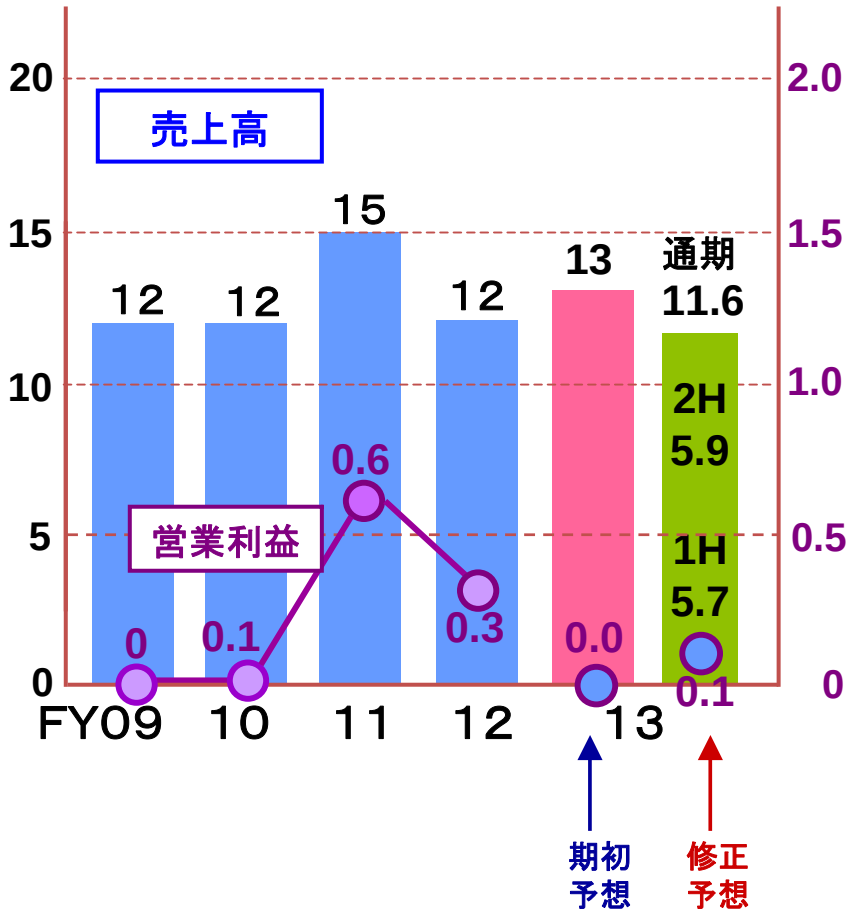
◇成長戦略

- グローバルニッチの市場開拓と製品開発
- YFLEXの新規市場・新製品の開拓開発
- 通信インフラ・車載向けの拡販と横展開

光関連（ＯＰＴ）事業

新製品のビジネス立上遅れる

単位：億円



◇通期の事業業績予想

単位：百万円

FY2013	売上	営業利益
期初予想通期	1,300	0
修正予想通期	1,160	8
1H実績	567	18

◇下期の状況

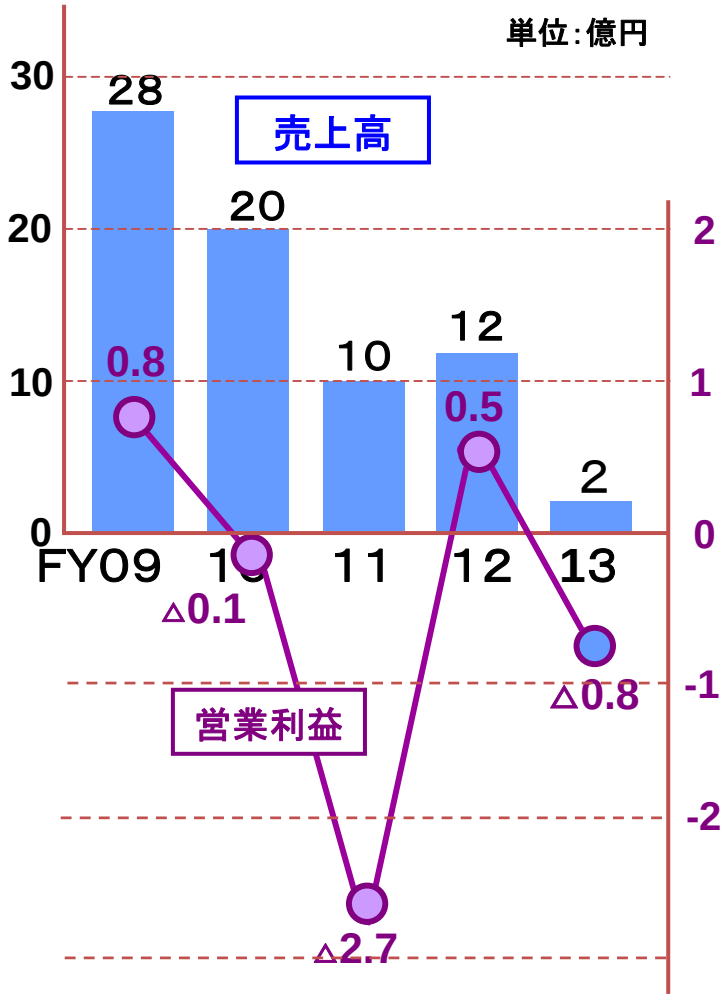
・新製品の立上げ遅れる
　設備投資先行で収益貢献は来期以降
・デジカメ向けが低調
・通信向けが堅調で収益に貢献

◇成長戦略

・新製品ビジネスを立上げる

EMS事業

事業撤退



◇通期の事業業績予想

単位：百万円

FY2013	売上	営業利益
期初予想通期	200	△80
修正予想通期	196	△80
1H実績	196	△80

◇下期の状況

・1QでEMS事業からの撤退で2H以降PL影響なし

マティ（液晶組立）
6月10日生産終了、11月清算結了予定

フィリピンPMI（基板実装）
6月28日に事業譲渡、工場売却

ご清聴ありがとうございました。

問合せ先：経営管理部広報課　笹川康彦

TEL：03-3734-7661　FAX: 03-3734-0120

http://www.yamaichi.co.jp

E-mail: sasagawa@yamaichi.co.jp